



【ニュースリリース】

2011年2月28日

日本コカ・コーラ株式会社
東京急行電鉄株式会社

コカ・コーラと東急電鉄が、期間限定でスペシャルなコラボレーションを展開！

世界で親しまれているコカ・コーラの5トーンが、渋谷駅の到着予告放送に

東急電鉄としては初の試み、半年間限定で到着予告放送を特別仕様に変更
ティーンをはじめ1日約45万人が行き交う日本有数のターミナル駅に、ハッピーをお届け

日本コカ・コーラ株式会社と東京急行電鉄株式会社は、2011年3月1日(火)から8月31日(水)までの半年間、東急東横線渋谷駅のホームで流れる到着予告放送を、「コカ・コーラ」ブランドの広告キャンペーンのTV-CMなどで使用している「コカ・コーラ 5トーン(ファイブトーン)」で展開することにいたしました。

今年、生誕125周年を迎える「コカ・コーラ」は、毎日の生活に身近な幸せを提供するブランドとして、“ハッピーをあげよう。”(Open Happiness)キャンペーンを世界各国で展開しています。日本においても、10代を中心とする若年層に対して、「コカ・コーラ」は学校生活やアルバイトなど日常の様々な場面で感じるイライラやストレスを、独特の味わいや炭酸の刺激によって前向きな気分へ解消してくれる存在として、その価値を広告や販促プロモーション・店頭展開など様々な活動を通じて広く伝えています。そしてその象徴の1つとして、2007年より全世界共通で使用しているサウンドロゴが、“コカ・コーラ 5トーン”となります。

東急電鉄としても、到着予告放送をある特定ブランドや企業とのコラボレーションで特別に変更するのは初の取り組みです。そして今回、このスペシャルな企画は、『ティーンを中心とするより多くの人たちに対して、「コカ・コーラ」ブランドが大切にしているポジティブな気持ちを届けたい』というコカ・コーラと、『日本を代表するターミナルであり、東急グループの本拠地・渋谷で、情報感度の高い人々に向けた新たな試みによって渋谷の街を活性化したい』という東急電鉄の思いが合致して、実現に至りました。

3月1日(火)の始発から8月31日(水)の終電までの半年間、1日の平均乗降客数約45万人を誇る東横線最大のターミナルでもある渋谷駅において、この「コカ・コーラ 5トーン」の音色をお届けすることで、通勤や通学などで渋谷駅を利用する多くのお客様に対して、日常のストレスやちょっとした悩みから少しでも解放して、「コカ・コーラ」を手にとった時に感じるような、爽やかで前向きな気分を提供することを目指します。

【参考資料】

“コカ・コーラ」5 トーン”について

コカ・コーラ 5 トーンは、“ハッピーをあけよう。”(Open Happiness) キャンペーンの前身となる“Coke Side of Life”キャンペーンの導入時から、「コカ・コーラ」ブランドが提案している前向きな気持ち、人と人とのつながり、爽やかに前向きなフィーリングなどの世界観を象徴するサウンドロゴとして、TV-CM やキャンペーンのテーマソング内で現在も用いられています。

国内外の超メジャーアーティストも楽曲内で活用する“コカ・コーラ5 トーン”

“コカ・コーラ5 トーン”は、「コカ・コーラ」ブランドのキャンペーンソングとして、国内外のメジャーアーティストもオリジナル楽曲内で取り込んでいます。

2009年、若者に人気のバンド MONKEY MAJIK が、キャンペーンの世界観を反映した日本オリジナル楽曲として書き下ろした“Open Happiness”においては、楽曲の冒頭で日本らしい琴の音をモチーフとした、5 トーンを盛り込み、楽曲をより強く印象づけています。

また、昨年「コカ・コーラ」の FIFA World Cup キャンペーンのグローバルアンセムソングとして話題になった、ソマリア人アーティスト、K'NAAN と日本を代表する女性シンガーの AI のコラボレーションによる“Wavin' Flag Coca-Cola_R Celebration Mix with AI”においても同様に、楽曲を一気に盛り上げるコーラス部分において、力強くエキサイティングな 5 トーンが盛り込まれています。

そして最近では、「コカ・コーラ」の 2010 年のクリスマスキャンペーンの TV-CM 楽曲として、グラミー賞受賞アーティスト、TRAIN による書き下ろしの楽曲「Shake Up Christmas」が起用され、クリスマスならではの幻想的な世界観の中で、5 トーンが効果的に使用されました。

なお、2011 年も「コカ・コーラ」は、TV-CM を中心とした様々な消費者コミュニケーションにおいて、こちらのコカ・コーラ 5 トーンを継続して使用していく予定です。今後の展開にもご期待ください。

東急東横線渋谷駅周辺開発について

渋谷は日本を代表するターミナルであり、東急グループの本拠地として重要な街です。東急の DNA ともいべき「東急文化会館」の跡地を中心とした地区に建設中の共同開発ビルを名称を、「渋谷ヒカリエ」と決定しました。地上 34 階、地下 4 階の高層複合ビルが 2012 年春に誕生する予定です。渋谷ヒカリエの低層部には東急百貨店を中心とした新店舗、高層部にはオフィス、中層部には約 2,000 席のミュージカル劇場「東急シアターオーブ」、街の新たな情報発信基地となるエキシビジョンホール、才能あるアーティストと社会をつなぐクリエイティブ・ラボからなる 3 つの文化施設を配置する予定です。また、地下 3 階で東横線・東京メトロ副都心線渋谷駅と直結するほか、1 階から 4 階までの各層で周辺道路などと接続するなど、街との連続性を持たせた歩行者ネットワークを形成します。現在の東横線渋谷駅が地下化され東京メトロ副都心線と相互直通運転を開始した後は、その跡地も含めた駅街区・渋谷駅南街区の開発にも着手する計画です。このように、地域・行政などとも連携し、渋谷の街の魅力をより高め、街全体の価値を向上させるため、渋谷駅周辺開発計画に積極的に取り組んでいきます。

Coca-Cola、コカ・コーラは The Coca-Cola Company の登録商標です。